

安積得也 あきや 評論家、詩人。明治二十二年（一月十七日埼玉縣生れ）  
九〇一）。大正十三年東京帝國大學法學部英法科卒。内務省入省、栃木  
・岡山各縣知事、内閣總合計畫局長等歴任。また、公明選挙連盟常務理  
事、全國教育委員會事務局長を務めた。

著書「未見への出發」（昭和十一年六月十五日三省堂）、「新商人訓」

（昭和十六年十一月十五日大阪・朝日新聞社）、詩集「底を叩く時」

（昭和二十年十二月十五日機械製作資料社）、「下村湖人の人間像」

その人と作品』（永杉喜輔合著、昭和二十六年五月二十一日新風土

会）、随想「自分の知らぬ自分」（昭和二十七年七月二十五日文教

書院「生活文化新書」）、「社会評論地球を見つづける」（昭和四十四年

九月一日時事通信社「時事新書」）等。

